

第108号

事業団だより



発行
社会福祉法人
千葉県社会福祉事業団
http://www.cfj.or.jp/



平成三十年度の事業がスタートして早三ヶ月が過ぎました。当事業団は、平成三十年四月から平成三十五年三月三十一日までの五カ年、千葉県袖ヶ浦福祉センターの指定管理を引き続き受託することが出来ました。様々な意見が届くなか、これまでの改革改善の取り組みを更に加速させ、第六次千葉県障害者計画の実施期間中に所定の諸課題を解決できるよう更に努力してまいりますので、関係諸団体の皆様には、引き続きのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第六次千葉県障害者計画では、障害者支援施設更生園利用者様の地域移行を更に進めるべく目標値を示しておりますが、移行には支援体制の課題は勿論、ご家族の様々な不安の払拭を必要としています。私達は新たに制定した支援理念のとおり、ここで暮らす時が「それぞれの人生にとってかけがえのない新たな人生への扉を開くこと」の出来る時となる「こと」を目指し、本人・ご家族に寄り添い続けてまいります。

寄り添うこともまた心の通い合いがあつてこそ成り立つもの。養育園児の卒業や卒園、入居者の転居や移行による退

「新たな5カ年の最初を迎え」

所等、時を経ずして新たな暮らしへ向かう利用者さんの傍らには、本人は勿論、家族や職員・関係者のたくさんの夢や思いがありました。

その夢や思いを支え、育て、形にしていく職員であり、法人であり続けること。

私達の目指す高みであり思っています。法人は事業規模の縮小と共に新たな競争と競争の時代に見合う経営運営体制を目指しますが、困難の先に、利用者さんや子供達、職員それぞれの笑顔とより良い人生の時のあることを信じ、この一年をスタートいたします。

本年度もよろしくお願いたします。

社会福祉法人 千葉県社会福祉事業団

理事長 相馬 伸男

事務局長 鈴木 隆浩

千葉県袖ヶ浦福祉センター

更生園施設長 古川 茂

養育園施設長 渡邊 泰之

診療室長 古川 健

ながうら地域支援センター

児童サービスセンター

所 長 渡邊 真紀

平成29年度 社会福祉法人 千葉県社会福祉事業団 決算報告

貸借対照表

(単位：円)

平成30年3月31日現在

勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
<資産の部>		<負債の部>	
流動資産	877,528,980	流動負債	175,621,829
固定資産	341,796,965	固定負債	286,633,079
基本財産	10,000,000	負債の部合計	462,254,908
その他の固定資産	331,796,965	<純資産の部>	
		基本金	10,000,000
		その他の積立金	45,038,000
		次期繰越活動増減差額	702,033,037
		(うち当期活動増減差額)	30,493,130
		純資産の部合計	757,071,037
資産の部合計	1,219,325,945	負債及び純資産の部合計	1,219,325,945

資金収支計算書

自平成29年4月1日～至平成30年3月31日

勘定科目	決算
<事業活動による収支>	
事業活動収入	1,384,108,617
事業活動支出	1,450,139,783
事業活動資金収支差額	△ 66,031,166
<その他の活動による収支>	
その他の活動収入	94,318,955
その他の活動支出	0
その他の活動資金収支差額	94,318,955
当期資金収支差額合計	28,287,789
前期末支払資金残高	719,877,027
当期末支払資金残高	748,164,816

事業活動計算書

自平成29年4月1日～至平成30年3月31日

勘定科目	決算
<サービス活動増減の部>	
サービス活動収益	1,374,254,645
サービス活動費用	1,372,987,993
サービス活動増減差額	1,266,652
<サービス活動外増減の部>	
サービス活動外収益	34,507,483
サービス活動外費用	5,281,005
サービス活動外増減差額	29,226,478
当期活動増減差額	30,493,130
<繰越活動増減差額の部>	
前期繰越活動増減差額	671,539,907
当期末繰越活動増減差額	702,033,037
次期繰越活動増減差額	702,033,037

平成30年度 社会福祉法人 千葉県社会福祉事業団 組織図

- 理事(7)
- 監事(2)
- 評議員(8)
- 顧問(1)

社会福祉法人
千葉県社会福祉事業団

千葉県袖ヶ浦福祉センター

事務局

更生園
養育園
診療室

ながうら地域支援センター
児童サービスセンター

編集後記

今年度も広報委員長になりました、佐藤です。

広報業務に携わって四年目となり、ふと、今まで発行してきた広報紙を見返した時「もつとここはこうしたほうが良かったかな」と反省点もありましたが、試行錯誤を重ねながら発行してきたことを思い出し、少しだけ自分を褒めつつ、改めて今年も頑張ろうと気持ちを入れ直しました。

今年度の広報委員会は昨年からの引き続き委員になっている職員も多いので慣れてはきたものの、広報紙発行の時期になると慌ただしくなり、無事に発行できた時ホッとします。

広報紙を通じて、事業団のことを少しでも知っていただければと思っています。

本年もよろしくお願いたします。

各事業所のお知らせなどは
ホームページをご覧ください。

千葉県社会福祉事業団 検索



「発表会しました！」



四月の保護者会総会后に、昨年度力を入れた取り組みの発表をさせて頂きました。

一泊旅行に出かけ、温泉を堪能されたあとの浴衣姿での宴会、お花を手にしてちよっぴり緊張気味のフラワーアレンジメント、食堂やお部屋の模様替えの様子、スポーツのついででのパン食い競争、新しく整備した作業棟など、行事や外出、日中活動の様子や暮らしの場の整備など、BGM入りのビデオや、写真をアレンジしたりと工夫を凝らし発表させて頂きました。

保護者の方には、「生き生きとした様子が分かって良かった」と好評で、「来

年度もまた発表して欲しい」とのご要望を頂きました。

今年度も取り組みを継続、発展させるよう職員一同力を合わせて取り組んで参ります。

更生園 サブマネージャー

田中 康江

「TEAM養育園」

新年度となり、四月は少し不安そうな表情を見せていた子ども達も、五月に入ると笑顔で、「行つて来ま〜す!」や「ただいま!」と挨拶してくれる姿を見て、微笑ましくもあり、日々の成長を感じています。私達職員も、子ども達の元気な声に癒やされながら、奮闘しています。

昨年度から、子ども達の様々な要望を伺う場として「児童ミーティング」を開催しています。栄養士が参加しての食事編や看護師に学ぶ健康編、外出ややりたいことを話し合う余暇編、3つの機会を設けました。休日には「潮干狩り」や「焼肉パーティー」「美術館鑑賞」など意見を基に、多種多様な余暇を実施しています。

六月には、近隣の特別支援学校の体育館をお借りして、「養育園レク大会」を開催し沢山の笑顔が見られました。

今年度も、「TEAM養育園」を目標に掲げ、昨年度以上に各班の協力体制と連携を密にして、毎日の生活や外出等に関わり、子ども達の笑顔がより多く見られるよう、支援に望みたいと考えています。

養育園 マネージャー 今井 一仁



子ども達から行ってみたいと要望があった千葉市美術館に行きました。館内ではいつもより神妙な面持ち。初めての美術館を満喫していました。



中の島公園にて潮干狩りを行いました。初めての体験で戸惑うこともありましたが、沢山のアサリが取れ、園でバター焼きにして食べました。



ゴールデンウィーク中に皆さんで焼き肉パーティーを行いました。自分達で焼いたお肉はいつもより美味しそうでした。

「就任挨拶」



四月から内田佐太先生の後を継ぎ診療室の管理医となりました、古川健です。

これまでは、千葉大学旧第一外科・現在の臓器制御外科の関連施設で勤務をしていました。

主に胃腸の検査や手術に従事してきましたが、地域に根ざした医療を行う病院勤務が多かったので、これまでの経験を生かしてご利用者様の健康管理・傷病時の診療を軸に、職員の方々や地域の皆様にもお役に立てるような診療室にしたいと考えています。

不慣れな面もあるかと思いますが、何かお気づきの際は、声をかけていただきますと思います。

診療室長 古川 健



診療は全て予約制です。
お気軽にご相談ください。

TEL : 0438-62-2746



診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	備考
内科・小児科	9:30~12:00	○	○	○	○	○	木曜の診療時間は
	13:00~16:00	○	○	○		○	12:00までになります
精神科	9:30~12:00			○	○	○	施設内利用者様のみの診察となります
眼科	13:30~14:30				○		月2回
耳鼻咽喉科	12:45~13:45	○					
皮膚科	13:00~15:00		○				第2・4
歯科	10:30~16:00	○	○		○	○	飲んだり、食べたり練習も受けられます。 ハンディキャップある方のみ診察になります

「生活の自由は元気の源?」



グループホームでは、日頃の洗濯や掃除などではできるだけ自分で行い、スタッフは、食事の準備や季節毎の衣替えなど、必要に忠じたお手伝いしています。

お部屋の様子も生活スタイルもそれぞれ個性的。

スマホゲームに夢中で毎朝ぎりぎり起きて仕事に行く人、休日のお昼は気に入った菓子パンなどをずつと買い続ける人、アイドルグッズやフィギュアを部屋いっぱい集めている人…。趣味や嗜好が働く意欲につながっているとはいえず、「ちよっと待って」と言いたくなることをぐつと我慢、我慢。それでも、話をすると、「わかっているけど好きなものは止められない、みんな一緒でしょ」と言われ、思わず頷いてしまう職員一同。

職場でしっかり働いている姿とのギャップ(?)に安心しつつも健康診断の結果に一喜一憂し、スタッフ同士、「このままで大丈夫?どう支援しようか」と悩み、やはり「自分で気付くまで待つしかないのかな」と、仕事の難しさを感じる日々です。

自己選択、自己決定を尊重しつつも、

事業紹介

児童サービスセンター

児童サービスセンターは、袖ヶ浦市・君津・富津の三市の療育支援事業を受託して、未就学児童を対象に臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士が個別療育を行っています。また、保育所や幼稚園へ訪問し、連携してお子さんの支援に取り組んでいます。

ご相談や利用の申し込みは、各市役所の窓口で受け付けています。

	月	火	水	木	金	土
心理療法	富津市	君津市	袖ヶ浦市 富津市	袖ヶ浦市	袖ヶ浦市	
言語訓練	袖ヶ浦市	袖ヶ浦市	富津市	君津市	袖ヶ浦市	袖ヶ浦市
作業療法			月1回			月1回

できるだけ健康に元気で生活してもらいたい、彼らからのヘルプコールにえられるよう備えていきたいと考えています。

ながうら地域支援センター

所長 渡邊 真紀